



歯学部生に対する歯科法医学臨床実習の必要性

○達 聖月¹⁾²⁾, 山下裕美¹⁾³⁾, 木村泰男⁴⁾, 角 忠輝⁴⁾, 池松和哉¹⁾⁵⁾

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 ¹⁾死因究明医育成センター, ²⁾歯科麻酔学分野, ³⁾顎口腔再生外科学分野, ⁴⁾総合歯科臨床教育学分野, ⁵⁾法医学分野

背景・目的

歯学教育モデル・コア・カリキュラムにおいて、歯科による個人識別が必須項目と位置づけられ、歯学部生に歯科法医学教育が必要となっている。長崎大学では2016年度より6年生の臨床実習に歯科法医学の実習を組み込んだ。今回、その教育効果について検討したので報告する。

方法

対象者: 歯学部6年生 51名(男性26名 女性25名)
実習時間: 150分
実習内容: 歯科的身元確認について体験する

死後口腔内写真の提示

生前カルテ資料の提示

デンタルチャート作成

比較照合・確認

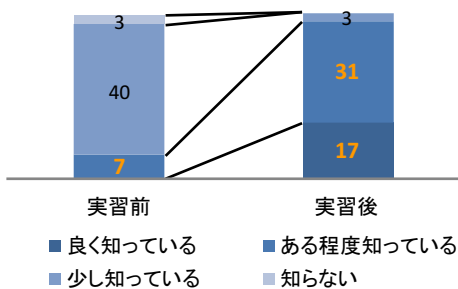
アンケート: 実習前・後の同じ質問項目について4段階(一部5段階)での回答

Questions
1. 身元確認に役立つ指標を知っているか。
2. 歯牙による個人識別が有力となる場面を説明できるか。
3. 大規模災害時の歯科医師の関わり方について説明できるか。
4. 御遺体のデンタルチャートを記載できるか。
5. 生前と死後のデンタルチャートを用いた比較照合ができるか。
6. 将来、歯科医師として身元確認にどの程度参加したいか。

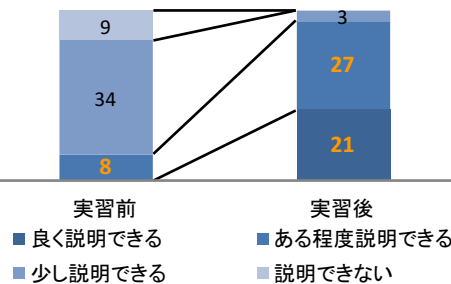


結果1 (人数)

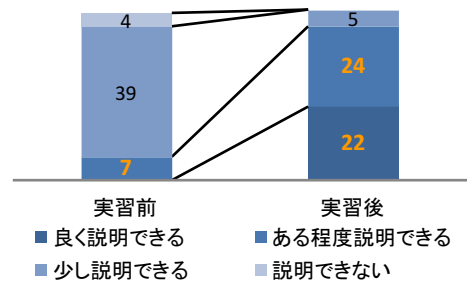
1. 身元確認に役立つ指標を知っているか



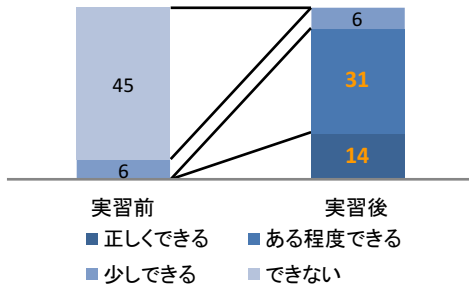
2. 歯牙による個人識別が有力となる場面を説明できるか



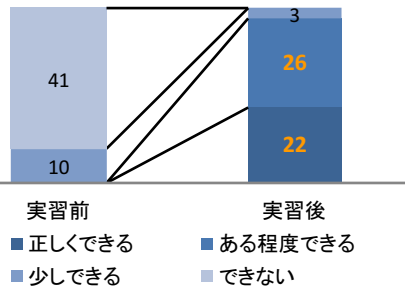
3. 大規模災害時の歯科医師の関わり方を説明できるか



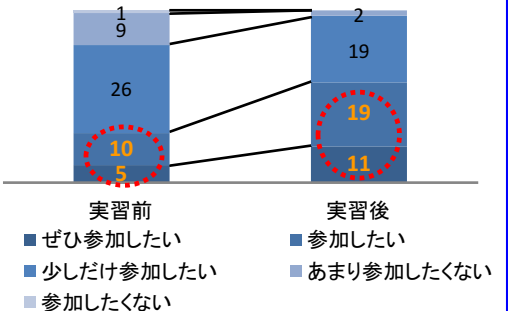
4. 御遺体のデンタルチャートを記載できるか



5. 生前と死後のデンタルチャートを用いた比較照合ができるか



6. 将来歯科医師として身元確認にどの程度参加したいか

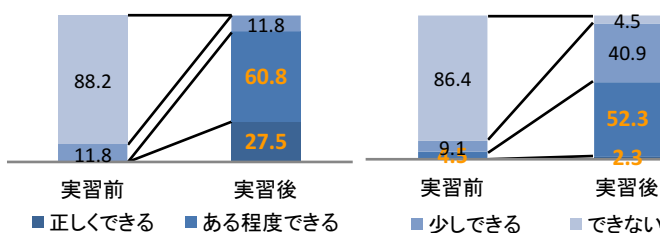


結果2: 実習時間および対象人数を変えた時との比較 (%)

御遺体のデンタルチャートを記載できるか

少人数 150分

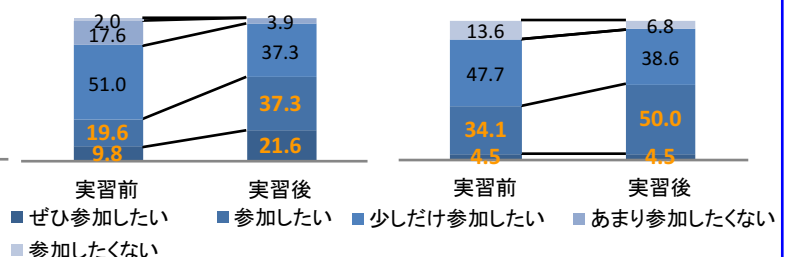
大人数 30分



将来歯科医師として身元確認にどの程度参加したいか

少人数 150分

大人数 30分



考察

歯科法医学の実習を、少人数である程度時間を確保した臨床実習のカリキュラムに組み込むことにより、知識の向上、業務に対する理解が著しく深まることが判明した。また、身元確認に際しての歯科医師の重要性や必要性をより強く認識し、今後積極的に参加することが期待された。

この内容の一部は第66回日本法医学会学術九州地方集会で発表したものである。演題発表に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業・組織や団体などはありません。